

## [CDS-GS ユニファイドストレージ導入事例]

### ソフトウェア企業様

#### ストレージシステムの導入経緯：

ストレージシステムの導入にあたり、以下の 3 つの要求条件を実現するストレージを選定する必要がありました。

- (1) 大容量データサイズを実現可能
- (2) ブロックストレージ (DAS) とファイルサーバ (NAS) の同時使用が可能
- (3) 遠隔地にある拠点にデータのバックアップを実行するためのバックアップ機能

#### GS ユニファイドストレージによるソリューション：

- 大容量ハードディスクをサポートし、JBOD 拡張筐体によるデータサイズ拡張が可能
- ブロックストレージ、ファイルサーバをサポートするユニファイドストレージ機能
- メインサイトからフォルダ単位でバックアップサイトへデータのバックアップを実行

#### GS ユニファイドストレージ導入効果：

1 システムにより DAS 接続と NAS 接続の混在環境でのストレージ利用が可能となりシステムコスト、運用管理工数が削減されました。ストレージ設定・運用管理に際して、管理ソフトウェア EonOne の GUI 機能は日本語を含め多言語に対応し、シンプルな操作性により、短時間で容易に設定管理を実行することができるようになりました。バックアップサイトへフォルダ単位のバックアップを実行することにより、万が一メインサイトでデータロスが発生してもバックアップサイトからデータを復元することが可能となりました。

#### システム構成図：

